



広報 なかわだ

第 382号

10月の予定

| | |
|-------------|------------|
| 教会委員会 | 10月 9日(日) |
| 信徒の会 | 10月 16日(日) |
| 子どもと共に捧げるミサ | 10月 23日(日) |
| バザー | 10月 30日(日) |



St Francis of Assisi (Cigoli 1597-1599)

2011年 10月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1

Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成 23年 10月 2日

共同体づくりについて

主任司祭 小林 陽一



2011年は、3月11日午後2時46分に東日本大震災が発生し、30メートルを越える強大な津波によって防潮堤も海岸部の機械電気設備も建物も押し流された年となりました。この被害に遭われた方々の救援もまだ足りないところが多く、復興も見通しすら立っていません。こうした事態に対して、私たちは祈ることだけでも続けねばならないと思います。

一方、教会の宣教司牧活動に目を向けると、在籍している信者さん、外国籍の信者として中和田教会に見えている信者さんによる共同体づくりに取りかかる時期がやって参りました。祈る力を育てる共同体づくり、信仰を伝える力を育てる共同体づくり、神の愛を証しする力を育てる共同体づくりが必要になっております。これらの共同体は、交わりとしての教会を実現するためのものであります。そして、この共同体づくりに関わろうとする時、大なり小なりの研修を受けている必要があります。例えば、

聖書勉強会、典礼研修会、聖体奉仕者研修会、ヘルパー養成研修会、教会学校リーダー研修会のような研修会もずいぶん共同体づくりにプラスになります。

神の愛を証しする力を育てる共同体づくりは、例えば、ホームレスの方々への炊き出しを応援する方々は、おにぎり作りの為のお米を寄付する意図に加えて、ホームレスの方々が少しでも人間らしい心のゆとりを持つために何が出来るか話し合うこと。こうした話し合いの積み重ねと人との心の触れ合いを通して、地道な出会いが生まれることを気長に待望することだと思います。

信仰を伝える力を育てる共同体づくりは、現在、宣教部の要理学校（生徒20人くらい）や中高生の集いの中で、仲良く話し合いながら、積み重ねられております。

「共同体が生まれますように」「神の愛を証しする力を育てる共同体が生まれますように」と各自で、あるいはグループで祈ることで、共同体づくりの第一歩が始まると思います。

そのように考えていくと、祈る力を育てる共同体づくりがまず最初に必要になると思います。聖霊の導きに信頼を寄せて、共同体づくりや教会の中の交わりを温めていきましょう。



| 日 | 曜 | | ミサ・勉強会 | 備考 |
|----|---|------------|-----------------|-----------------|
| 1 | 土 | | 主日ミサ(18時) | 掃除 |
| 2 | 日 | 年間第27主日 | 主日ミサ(9時) | ロザリオの祈り |
| 7 | 金 | ロザリオの聖母記念日 | 初金ミサ(10時) | 掃除 |
| 8 | 土 | | 主日ミサ(18時) | |
| 9 | 日 | 年間第28主日 | 主日ミサ(9時) | ロザリオの祈り |
| 15 | 土 | | | 掃除 |
| 16 | 日 | 年間第29主日 | 主日ミサ(9時) | ロザリオの祈り |
| 22 | 土 | | | 掃除 |
| 23 | 日 | 年間第30主日 | 子どもと共に捧げるミサ(9時) | 全体掃除(CD地区) |
| 29 | 土 | | | |
| 30 | 日 | 年間第31主日 | 主日ミサ(9時) | 11:00-13:00 バザー |

恒例の敬老祝賀ミサと祝賀会が開催されました（9月19日）

敬老祝賀対象の方々22名^(*)のご参加を頂き、和やかで楽しい祝賀のひと時を過ごすことが出来ました。

参加された皆様、そして参加出来なかった皆様の上に、神様の豊かなお恵みが注がれますように、皆でお祈りをしました。入念な準備とご奉仕頂いた典礼G、行事G、信徒の会ははじめ関係の皆様、有難うございました。

(*) 中和田教会の敬老祝賀対象の方々は、総計48名で、内5名の方々が本年度より対象となりました。



バザー関連のお知らせ

皆様と順を進めてまいりましたバザーは、いよいよ今月末に行なわれます。手作り品もお蔭様で続々と集まっていますが、さらににぎやかなるように、家の中を見廻して、眠っている品物がありましたら、教会にお持ち下さい。

当日は、お友達、ご家族を誘い合っておいで下さい。また、売り場、食堂のスタッフは、前日まで、当日など、お時間を都合して、多くの方々のお手伝いをお願いします。

— 記 —

1. 日時： 2011年10月30日(日) 11:00-13:00
2. 場所： 中和田教会（※駐車場はありません）
3. 内容：
 - ・雑貨品、手づくり品
 - ・食堂（前売り・当日売り）
 - ・一部フリーマーケットあり
 - ・バザー券の抽せん（12:00頃）

《バザーについてのお願い！》

- ① 食堂で使う食材や消耗品のご寄付
（新集会室に表示します）

紙コップ、紅茶、カレールウ、調味料、など

- ② 雑貨品などの値段つけのお手伝い

・日時：

10月12日(水) 10:00～

10月13日(木) 10:00～

新集会室棟2Fの和室で行います。
多くの方のご参加をお願いします。

(バザー委員会)



第5地区合同キャンプに参加して

第2回第5地区合同キャンプが8月19日～21日に静岡聖光学院において行われました。

今回は、3月の東日本大震災の影響で、開催が二転三転して大変苦勞しましたが、指導司祭の藤沢教会・トウ神父様のもと、各参加教会（藤沢、大船、片瀬、戸塚、原宿、雪の下、中和田）から、小学生54名、リーダー18名が集まりました。

天候も横浜方面は雨模様だったようですが、静岡では、神様のお恵みで雨も降らず（夜は降りましたが、昼間は降らず）曇り空でした。暑さもそれほど暑くなく、ちょうどよい天候で、全てのスケジュールを予定通り行うことができました。

1、2年生は聖書の中から「五つのパン」を題材にした勉強、3、4年生はお祈りについて、5、6年生はお祈りと侍者の勉強をしました。スタンプの出し物（聖書の中から物語を抜粋して、自分でお話を作り、発表する）を各班で協力してつくる姿や、子ども達の目の輝き、笑顔を見ていると、子ども達の無限の可能性を感じました。そして、私たちの中には、間違いなくイエス様がおられることを感じながら過ごすことができた3日間でした。このキャンプに参加した多くの子ども達が、なにか自分の信仰の糧をつかみ、これからの生活に生かしていくことができたらと願います。

キャンプは楽しいですし、多くの新しい友達もつくれますし、楽しい思い出がいっぱい作れます。中和田教会からは本庄華さんがひとり、2年間続けて参加してくれましたが、来年は一人でも多くの子ども達が参加してくれるのを待っています。

この3日間、一人の怪我もなく、無事に終わることが出来たことを、神に感謝いたします。疲れましたがとても楽しく有意義なキャンプでした。
(宣教グループ 井上昭男)



岩淵委員長の コラム



■ これまで東日本大震災の募金を御願いして参りましたが、皆様の御協力で多額の義援金が集まりました。Tシャツ販売でも御協力を頂きました。9月末に最終集計して仙台教区にお送りする予定です。復興にはまだまだ時間がかかります。今後も引き続き皆様のお祈り、バザー他折に触れての御協力を宜しくお願い致します。

■ 避難訓練はお疲れ様でした。日頃の備えあれば憂い無しと申します。しかし、もっと緊迫感のある避難の仕方、避難にかかったトータル時間の計測と評価、避難路の見直しと整備など今後改善していくべき事項も見えました。皆様にも一緒に考えて行って頂きたいと思ひます。

■ 9月25日の午後、区民クリスマスの第一回目の歌の練習が当教会で開催されました。たまたま用事で教会におりましたが、非常に美しい歌声が聞こえてきました。曲も声も素晴らしく、多くの人を感動させるに違いないと感じました。日頃イエズスキリストとは縁のない方々にも身近にキリストを感じてもらいたい良い機会になるだろうと思ひますし、キリストを伝える活動の一つとして大事にして行くべきだと感じた次第です。皆様の御協力のほどお願い致します。

■ 毎週第4日曜日に教会建物を考える会が開かれています。この会は教会の正式な活動ですが、委員を固定化せず、誰でもテーマに関心のある方は自由にボランティア的に参加して頂くのが建前となっています。その理由は、教会の建物は皆の財産であり、できるだけ多くの方の知恵や知識を集め、皆様の御希望やアイデアを実現していくべきという考えからです。これからの重要なテーマは、御高齢の方々に配慮した建物と設備、安全防災対策、将来に向けた方向付け等です。是非一度お気軽に議論に参加してみてください。

■ 当教会でも新たに聖体奉仕者を任命し、集会祭儀、病者訪問など新しい試みも検討されることになっております。そんな折、鍛冶ヶ谷教会で『第五地区・集会祭儀セミナー』が開催されることになりました。基本的な考え方や、ロールプレーなど中和田教会にとっても非常に役立つ内容ですので、是非皆様の御参加をお願い致します。日時は10月29日（土）13時～15時 鍛冶ヶ谷教会です。

△9月11日(日) 12名出席▽

■報告事項

●ガーデンパーティの結果と反省 (信徒の会 小野)

天候が持ちこたえてくれて助かった。盛況裏に終了出来たことは、多くの方々の協力、ご奉仕の賜物であり、深く感謝。とくに、武田様ご一家には、いつものことながら多大なご寄付、ご奉仕を頂いた。

●聖堂改修をお願いした大川様、並びに戸塚教会の方々のご参加を頂いた。原宿修道院からはわざわざ差し入れを送って頂いた。

●大川様、原宿修道院、戸塚教会には、教会委員長並びに総務よりお礼状を送った(小山(恭))

●食事の準備を大勢で行なったが、結果的に多く余ってしまった。いろいろな要因があるが、事前の相互連絡をよくすれば改善出来ると思う(中島)

●和泉葬儀社の件(小山(恭))

●ホールを一時閉館する旨連絡あり

●ケセン語聖書等の出版社支援の件 予定以上の購入申込みあり(16部)

●その他の報告事項は、以下に記述

●各グループからの報告

●典礼(下村)

●10月はマリア様の月であり、ロザリオの祈りを行う

●7月31日に典礼ミーティングを行い、前回に引続いて「葬儀のしおり」を主題として話し合いを行なった

●9月18日の敬老祝福は、ミサ終了後に「塗油と按手」を行なう。

●財務(甲斐)

●聖堂改修に基く火災保険内容再評価の結果、年間保険料が数千円上がる

●こととなった↓委員会了承

●大震災義援募金第一弾を9月末迄継続するが、送付金額調整、送付先は教会委員

長と財務委員に一任する ↓委員会了承

●宣教(井上、石井(悠)、萱場)

●第5地区サマーキャンプが無事終了。全体で要理学校が58名(リーダー18名)参加した(中和田要理学校から1名参加) 来年度湘南キリスト教セミナーは、講演者候補を絞り込み中。

●11月3日のリーダー研修会では、シスター小野の講話もあるので、要理学校のお母さん方に声をかけている(反応あり) 《泉区民クリスマス(石井(悠))》

●本日より練習を開始する。また例年通りスポンサーを募集している。

《要理学校(萱場)》

●敬老祝賀会や降誕祭聖劇の準備状況報告

●営繕/教会建物を考える会(福島)

●別資料に基き、修理実績、トイレ清掃用具購入などを報告。清掃用具については、使用法メモ共々置き場所を検討する

●今後の修理案件に関する提案については、予算内で収まるので実施する

●ガス管の引出口のチェック依頼が小林神父よりあり、別途対応。

●「建物を考える会」の報告事項は無し

●福祉(中島)

●集まった木綿布(パッチワーク用)を定型寸法に作る作業を9月26日に行なう

●大震災支援Tシャツを、中和田で累計70着販売したが、バザーでもこのTシャツと手さげを販売する。

●行事(武田(幸))

●敬老祝賀会準備は、楠田さん中心に進行中。案内状も発送済み(該当48名) バザー準備は、バザー券、食券の販売を開始した。ポスターの文言を検討中

●総務(小山(恭))

●信徒台帳の整備の為、他の小教区に確認依頼状を送ったが、83%の回答を頂いた。これで、他教会への確認依頼は打ち止めとする

●総務のご尽力に感謝する(岩淵委員長) 最近、教会入り口の案内板への子どもの落書きが多い。注意願いたい(↓要理学校

●子供が自由にかけるスペースの提供を検討して欲しい(小林神父要望)

●信徒の会(小野)

●サロンの運営に関する、7月17日の例会の話し合い内容を報告

●話し合いのテーマは、「運営指針の明確化」で、結果は次の通り。

○サロン継続の為に、極力負荷を軽減

○月1回(第4週)開催とし、セルフサービスを基本とする。

○年間予定を立て、奉仕頂ける人を確保

○この件に関する議論

○「重要な交流の場であるサロンの運営を、簡素化してでも継続していく」という考え方は正しいと考える(岩淵委員長)

○今まで教会委員会が担当して来て「何でうまくいかなかったのか」という反省無しにただ「信徒の会」に運営を移すというはおかしいのではないかと。経緯を踏まえて、問題をはっきりさせて欲しい(下村)

○単に「信徒の会」に移すとか押し付けるという意図ではない。「信徒の会」の目的は、明確に「親睦」である。従って、サロンの担当は「信徒の会」が最も相応しいが、年初に発足してばかりなので半年間の猶予期間が欲しい、という要請に添えていただけのことである。また、問題点は明確であり、委員会でも募ってもご奉仕頂ける人が集まらないことに尽きる。(岩淵委員長)

○いずれにしても、問題が出て来たから見直さなければならぬのだから、まずはスタートしたらどうか(小野)

★結論として、「信徒の会」でサロン運営を(試行的に)スタートする

●広報(小野)

●岩淵委員長から、教会ホームページ運営の見直し検討要請、即ち、

①維持コストを個人負担から教会負担へ、

②コンテンツ容量増大への対応、

を頂いているが、②は現行プロバイダの制約が多く、もっと時間をかけて検討を進める。(↓委員長了承)

■小林神父の話(別資料に基く議論)

●女子パウロ会より、10月30日バザーで図書販売をしたい旨要請あり。販売スペースと駐車場の確保をお願いする

●高校生・成人の該当者を受奨勸奨の手紙を45通送ったが、高校生1名以外は反応無し。信徒の協力をお願いする

●防災設備点検を9月20日に行なう

●9月の典礼に、29日大天使祝日ミサを加える(梅村司教霊名祝日)

●近々、聖体奉仕者候補に主任司祭が聖体奉仕を依頼する(その後に梅村司教に推薦&任命依頼)

●小林神父が黙想会で出張：10月17日於軽井沢修道院(026745101)。緊急の際は、速やかに連絡願いたい。

●小林神父より資料配布(聖体奉仕者(複数)が司教様からの任命書を受けて後必要となる事項(案))

●この案件は、本日は審議出来ないが、次回以降の審議としたい。但し、この議論の中心は典礼Gであり、この点宜しくお願いしたい(岩淵委員長)

●集會祭儀についても、準備に時間をかけて来た先輩教会の助言や支援を得たい。また病者訪問も、最初は小林神父に随行して、学びながらレベルアップを図っていくことが肝要と考える(岩淵委員長)

■討議事項

●10月度日程確認(詳細略)

●敬老祝賀の対応：前掲報告の通り

●防災訓練

●9月25日に実施(全体大掃除は中止)

●その他の討議事項は、次回以降審議へ

■その他

●一粒会大会の参加者に関して、会場側の絞込み要請に対し、各教会が絞り込んだが、まだオーバしているとのこと。中和田からの申し込みは当初の6名がゼロとなったので、これ以上の調整は不要。

(次回は10月9日) 以上

